

令和元年度  
地方創生推進交付金事業及び  
地方創生拠点整備交付金事業  
の効果検証  
〈案〉

令和元年10月

熊 本 県

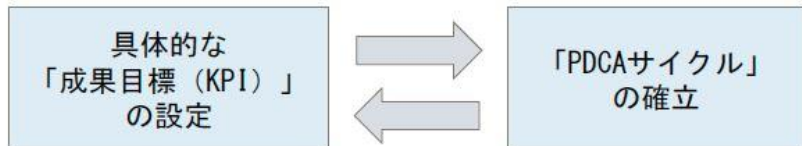
# 地方創生推進交付金（内閣府地方創生推進事務局）

30年度予算額 1,000億円（29年度予算額 1,000億円）

## 事業概要・目的

○地方創生の新展開を図るため、地方創生推進交付金により支援します。

- ①地方版総合戦略に基づく、地方公共団体の自主的・主体的で先導的な事業を支援
- ②KPIの設定とPDCAサイクルを組み込み、従来の「縦割り」事業を超えた取組を支援
- ③地域再生法に基づく法律補助の交付金とし、安定的な制度・運用を確保



## 対象事業・具体例

### 【対象事業】

#### ①先駆性のある取組

- ・官民協働、地域間連携、政策間連携、事業推進主体の形成、中核的人材の確保・育成、地域経済牽引
- 例) ローカル・イノベーション、ローカル・ブランディング（日本版DMO）、生涯活躍のまち、働き方改革、小さな拠点、空き店舗 等

#### ②先駆的・優良事例の横展開

- ・地方創生の深化のすそ野を広げる取組

### 【手続き】

○地方公共団体は、対象事業に係る地域再生計画（5ヶ年度以内）を作成し、内閣総理大臣が認定します。

## 30年度からの運用改善

### ①ハード事業割合

- ・計画期間を通じたハード事業の割合は、原則として5割未満。
- ・ただし、ソフト事業との連携により、高い相乗効果が見込まれる場合は、5割以上（上限8割未満）になる事業であっても申請可能。

### ②横展開タイプの交付上限額の引上げ（事業費ベース）

【都道府県】	先駆	6.0億円（29年度：6.0億円）
	横展開	2.0億円（29年度：1.5億円）
【市区町村】	先駆	4.0億円（29年度：4.0億円）
	横展開	1.4億円（29年度：1.0億円）

### ③交付決定時期の早期化

新規事業：4月1日交付決定（29年度：5月30日交付決定）

## 資金の流れ



（1/2の地方負担については、地方財政措置を講じます）

# 生産性革命に資する地方創生拠点整備交付金（内閣府地方創生推進事務局）

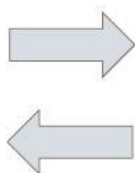
29年度補正予算額 600億円（事業費ベース 1,200億円）

## 事業概要・目的

○「生産性革命」等に向けて、地方公共団体の地方版総合戦略に基づく自主的・主体的な地域拠点づくりなどの事業について、地方の事情を尊重しながら施設整備等の取組を推進します。

- ① ローカルイノベーションをはじめとする、地域の中堅・中小・小規模事業者の「生産性革命」等につながる先導的な施設整備を支援
- ② KPIを伴うPDCAサイクルを組み込み、従来の「縦割り」事業を超えた取組

具体的な  
「成果目標(KPI)」  
の設定



「PDCAサイクル」  
の確立

## 事業イメージ

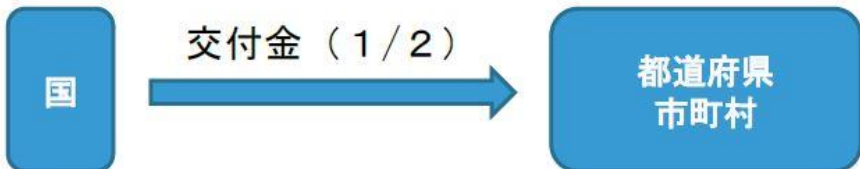
### 【主な対象施設のイメージ】

- 地域の製造業が行う低コスト・高精度の研究開発や、地域産品の高付加価値化につながる研究開発のための拠点の整備
- 地域の中堅・中小企業・小規模事業者の生産性や所得の向上につながる研修拠点等の整備
- 地域の食肉加工業者、水産加工業者等を集約化・大規模化する加工処理施設の整備
- ドローンや自動走行、AIなど近未来技術の活用を促し、その実証・実装に向けた拠点の整備

### 【手続き】

○地方公共団体は、対象事業に係る地域再生計画を作成し、内閣総理大臣が認定。

## 資金の流れ



## 期待される効果

○「生産性革命」等につながる施設整備等を行うことにより、地方における安定した雇用創出、地方への新しいひとの流れ、まちの活性化など地方創生の深化に寄与します。

# 地方創生推進交付金事業プロジェクト一覧(平成30年度実施)

NO.	プロジェクト名	大分類	小分類	実績額 (千円)	繰越額 (千円)
1	フードバレー地域商社創設推進プロジェクト(H30年度で終了)	しごと	③	14,500	
2	阿蘇草原再生・しごと創生プロジェクト	しごと	①	24,345	
3	IoTを核とした人材育成と実証による産業創出イノベーション推進事業	しごと	③	4,006	
4	自然共生型産業を核としたローカルイノベーションプロジェクト(H30年度で終了)	しごと	③	26,252	
5	くまもと版DMO推進プロジェクト(H30年度で終了)	しごと	②	15,050	
6	がんばるけん！くまもとけん！企業再生・復興担い手確保プロジェクト(H30年度で終了)	人の流れ	②	44,994	
7	熊本都市圏東部地域をはじめとした創造的復興による地方創生プロジェクト	しごと	③	88,559	
8	ヘルスケア産業等の振興をはじめとした健康長寿プロジェクト	しごと	③	51,995	
9	中山間地域におけるしごと創生・好循環プロジェクト	しごと	①	66,848	
10	「攻めの経営」「選ばれるしごと」による企業力向上プロジェクト	しごと	③	61,595	
11	熊本県プロフェッショナル人材戦略拠点運営事業	しごと	③	19,818	
12	自然共生型産業を核とした地域未来投資促進プロジェクト	未来投資	③	169,339	
13	IoTを活用した熊本発！未来投資促進プロジェクト	未来投資	③	55,632	
14	地方創生未来型農業の拠点づくり支援プロジェクト	未来投資	①	68,656	55,163
15	環境負荷を抑制する循環型ビジネス等の構築に向けた地域未来投資促進プロジェクト	未来投資	③	739	45,000
16	熊本地震の震災遺構等を活用した回廊型フィールドミュージアムによる交流人口拡大プロジェクト	人の流れ	②	45,527	
17	くまもと県南フードバレー 地域農産物活用拠点強化プロジェクト	未来投資	①	35,699	35,298
18	阿蘇カルデラのめぐみを活用した観光産業創造事業	未来投資	②	22,699	
19	「くまもとではたらく」若者の県内定着促進プロジェクト	人の流れ	②	10,225	
20	大河ドラマを契機とした県北地域の広域周遊観光プロジェクト	しごと	②	17,440	
合計				843,918	135,461

# 地方創生推進交付金事業プロジェクト分類

大分類	小分類	プロジェクト数	実績額 (千円)	繰越額 (千円)
しごと創生	① 農林水産品の輸出拡大等の農林水産分野	2	91,193	
	② 観光振興(DMO)等の観光分野	2	32,490	
	③ (①、②を除く)ITを活用した中堅・中小企業の生産性向上、新規事業化、対日投資促進等のローカルイノベーション分野	7	266,725	
地方への人の流れ	② 移住促進・地方創生人材の確保・育成等の人材分野	3	100,747	
地域未来投資促進法 関連事業	① 農林水産品の輸出拡大等の農林水産分野	2	104,355	90,461
	② 観光振興(DMO)等の観光分野	1	22,699	
	③ (①、②を除く)ITを活用した中堅・中小企業の生産性向上、新規事業化、対日投資促進等のローカルイノベーション分野	3	225,710	45,000
合計		20	843,918	135,461

## 平成30年度におけるKPI(重要業績評価指標)の状況

プロジェクト数	KPI総数	①目標値を達成	②目標値の7割以上を達成	③目標値の5割以上を達成	④目標値の達成は5割未満	⑤実績値集計中	⑥令和元年度以降にKPIを設定
20	57	28	4	1	15	7	2

## 平成30年度で終了したプロジェクトの事業期間全体のKPIの状況

プロジェクト数	KPI総数	①目標値を達成	②目標値の7割以上を達成	③目標値の5割以上を達成	④目標値の達成は5割未満	⑤実績値集計中	⑥令和元年度以降にKPIを設定
4	12	7	1	0	4	0	0

## 地方創生拠点整備交付金事業プロジェクト一覧(平成30年度実施)

NO.	プロジェクト名	予算区分	大分類	小分類	実績額 (千円)	繰越額 (千円)
1	産業技術拠点高度化プロジェクト	平成28年度 補正	しごと	③	81,805	
2	県産材利用促進のための研究開発・技術支援の拠点強化プロジェクト		しごと	①	61,953	
3	攻めの中山間地域のための新たな茶業モデル拠点形成プロジェクト		しごと	①	102,738	
4	農業・農村活性化のための担い手育成・交流拠点整備プロジェクト		人の流れ	②	271,174	
5	「旅客ターミナル」を核とするみなと活性化プロジェクト		しごと	②	43,438	
6	次世代型平坦地域農業ローカルイノベーション拠点形成プロジェクト		しごと	①	22,512	
7	阿蘇の景観維持のための高原農業モデル拠点形成プロジェクト		しごと	①	10,697	
8	畜産新技術導入による生産性・競争力強化プロジェクト	平成29年度 補正	しごと	③	53,367	49,058
9	海藻増養殖研究機能強化による海藻の生産性革命プロジェクト		しごと	①	63,517	
10	林業生産性向上のための研修拠点強化プロジェクト		しごと	①	96,256	111,509
11	阿蘇草原を活用した畜産農家の放牧・飼養管理生産性革命プロジェクト		しごと	③	13,105	76,825
12	先端技術を活用した畜産の生産性革命プロジェクト		しごと	③	67,110	287,209
13	長期貯蔵による農産物の生産性向上・高付加価値化拠点形成プロジェクト		しごと	①	9,811	97,891
14	情報通信及び解析技術を活用した施設園芸の統合環境制御による生産性向上プロジェクト		しごと	①	14,727	249,950
合計					912,208	872,442

## 地方創生拠点整備交付金事業プロジェクト分類

大分類	小分類	プロジェクト数	実績額 (千円)	繰越額 (千円)
しごと創生	① 農林水産品の輸出拡大等の農林水産分野	8	382,211	459,350
	② 観光振興(DMO)等の観光分野	1	43,438	
	③ (①、②を除く)ITを活用した中堅・中小企業の生産性向上、新規事業化、対日投資促進等のローカルイノベーション分野	4	215,386	413,092
地方への人の流れ	② 移住促進・地方創生人材の確保・育成等の人材分野	1	271,174	
合計		14	912,208	872,442

## 平成30年度におけるKPI(重要業績評価指標)の状況

プロジェクト数	KPI総数	①目標値を達成	②目標値の7割以上を達成	③目標値の5割以上を達成	④目標値の達成は5割未満	⑤実績値集計中	⑥令和元年度以降にKPIを設定
14	42	4	1	1	9	0	27





地方創生推進交付金事業  
(平成30年度実施)

推進 1

プロジェクト名(事業期間)	フードバレー地域商社創設推進プロジェクト（平成28年度～平成30年度）
プロジェクト概要	熊本地震のような大規模災害時の販路・取引先消失等のリスクにも対応でき、他地域のモデルとなる“地域を支え・束ねる”地域商社機能の創設に向け、くまもと県南フードバレーの枠組みを活用した基盤整備を推進する。

NO.	構成事業名	担当部局	実績額		平成30年度 事業実績
			総事業費(千円) (交付金 対象外含む)	うち交付金 (千円)	
1	リスクに強い地域連携基盤づくり事業	農林水産部	29,000	14,500	H29年4月に設立した地域商社である㈱KASSE JAPANとフードバレー推進協議会が連携し、県南地域産品の販路拡大に向け、地域産品情報シートを活用した営業活動や、地域産品を活用した商品開発を実施。
			29,000	14,500	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	平成28年度増加分		平成29年度増加分		平成30年度増加分		平成28～30年度合計		平成30年度 評価	平成28～30年度合計 評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
地域商社(機能) 初年度販売額10,000千円	農林水産部	千円	0	-	-	0	9,200	10,000	19,462	10,000	28,662	①目標値を達成	①目標値を達成
地域産品情報シート 新規450件(150件/年)	農林水産部	件	550	150	150	150	156	150	218	450	524	①目標値を達成	①目標値を達成
地域ブランド「RENGA」商品開発 13品	農林水産部	品	0	3	5	5	12	5	16	13	33	①目標値を達成	①目標値を達成

推進 2

プロジェクト名(事業期間)	阿蘇草原再生・しごと創生プロジェクト（平成28年度～令和2年度）
プロジェクト概要	熊本地震で甚大な被害を受けた阿蘇地域の農畜産業及び観光産業の再生のため、阿蘇の雄大な草原の維持保全及び活用の観点から、雇用創出及び交流人口拡大に取り組む。

NO.	構成事業名	担当部局	実績額		平成30年度 事業実績
			総事業費(千円) (交付金 対象外含む)	うち交付金 (千円)	
1	阿蘇草原再生事業	企画振興部	12,900	6,450	阿蘇の草原の維持・再生に向け、地元後継者の育成、放棄地における野焼き再開支援、野焼きボランティアの拡充支援などを実施。
2	阿蘇草原保全・活用事業	企画振興部	6,547	3,274	阿蘇の草原景観を活用し、観光客の誘客を図るため、阿蘇管内のJAPAN ECO TRACKルート認定に向けた取組みに対する支援を行い、ルート拡大を実現。また、ルート周知のためのサイクルイベント「第2回ライドイン阿蘇」をH30年12月に実施。
3	阿蘇草原再生・しごと創生プロジェクト推進事業	農林水産部	15,744	7,872	野草の活用を進めるため、野草堆肥有用性研究、野草供給システム構築支援及び草原斜度図・ハザードマップのデータ作成を実施。また、阿蘇地域世界農業遺産の認知度向上、農産物の販売促進、高付加価値化を図るため、情報発信イベントを開催。
4	放牧活用型草原等再生事業	農林水産部	25,937	6,750	阿蘇市等、10市町村の34牧野組合等が実施する牧柵、放牧牛集合施設(追い込み柵)等の整備を支援し、牧野(草原)の有効活用を推進。
			61,128	24,345	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	平成28年度増加分		平成29年度増加分		平成30年度増加分		平成30年度 評価	
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
採草オペレーター組織による採草面積 40ha(H26) → 300ha(H32)	農林水産部	ha	40	0	60	60	30	100	20	④目標値の達成は5割未満	
阿蘇地域の放牧頭数 7,300頭 → 5,189頭(H32)	農林水産部	頭	7,300	-3,300	-900	261	525	319	集計中	⑤実績値集計中	
野焼き放棄地における再開地面積 185ha → 400ha(H32)	企画振興部	ha	185	40	10	40	45.5	50	36	②目標値の7割以上を達成	

推進 3

プロジェクト名(事業期間)	IoTを核とした人材育成と実証による産業創出イノベーション推進事業（平成28年度～令和2年度）
プロジェクト概要	留学生や外国人労働者約100人(アジア圏出身者中心)を情報ネットワーク化したうえで、ビジネスアイデアを発掘し、プロジェクト化するビジネプランを選定。プロジェクト化に向けて企業とのマッチングや実証事業を実施。

NO.	構成事業名	担当部局	実績額		平成30年度 事業実績
			総事業費(千円) (交付金 対象外含む)	うち交付金 (千円)	
1	「熊本県IoT推進ラボ」事業	商工観光労働部	8,012	4,006	外国人留学生や労働者による外国人等企画室において、IoTを活用したビジネスアイデアを検討するワークショップを6回開催。検討された2つのアイデアについて、地元企業等に対し発表を実施。※参加企業数=4社
			8,012	4,006	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	平成28年度増加分		平成29年度増加分		平成30年度増加分		平成30年度 評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	
プロジェクト化や新たなビジネスの創出（加賀市:10件、熊本県:30件）	商工観光労働部	件	0	-	-	0	2	5	17	①目標値を達成

推進 4

プロジェクト名(事業期間)	自然共生型産業を核としたローカルイノベーションプロジェクト（平成28年度～平成30年度）
プロジェクト概要	本県の強みである豊かな自然環境・資源などを活かしたベンチャー・企業の新事業展開等を支援し、自然共生型産業をはじめ新たな成長産業を創出する。

NO.	構成事業名	担当部局	実績額		平成30年度 事業実績
			総事業費(千円) (交付金 対象外含む)	うち交付金 (千円)	
1	次世代ベンチャー創出支援事業	企画振興部	35,383	17,692	新たな成長産業創出につながる起業者やベンチャー等の取組みを後押しするため、ベンチャーコンテストを実施し、33社・チームを発掘。また、資金調達が困難な創業初期のベンチャーへの研究開発等の支援を実施。
2	九州ベンチャーマーケット(ワサモンのまちづくり推進事業)	商工観光労働部	1,096	548	九州各県共同で、各県のベンチャー企業と九州内外の一流の投資家やビジネスパートナーが集うマッチングイベント(参加者約570名)を開催し、ベンチャー企業の資金調達・販路拡大等を支援。
3	ふるさと投資応援事業	企画振興部	839	420	セミナー等により「ふるさと投資」を周知したほか、被災中小企業者1件の事業再建計画作成等を支援。また、H29年度までに支援した18件のうち11件が事業再建等を開始。
4	人材ネットワーク構築事業	企画振興部	15,185	7,592	熊本県に縁のある人材をネットワーク化する“熊本コネクションプロジェクト”の推進及び地域課題解決のための取り組みをテーマごとに検討・実施する「熊本のミカタ」を開催。また、10～20代の若者をターゲットとしたLINE@を活用した情報発信を開始し、熊本のイベントなどの情報やウマコネの取組み等を配信することで若手会員の募集を行い、会員のコミュニティの活性化を推進。
			52,504	26,252	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	平成28年度増加分		平成29年度増加分		平成30年度増加分		平成28～30年度合計		平成30年度 評価	平成28～30年度合計 評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
ビジネスシーズの発掘・育成による事業化件数（H28:0件 → H32:8件）	企画振興部	件	0	0	2	2	4	2	5	4	11	①目標値を達成	①目標値を達成
事業実施による新規雇用者数（H28:0人 → H32:100人）	農林水産部	人	0	10	4	10	8	25	2	45	14	④目標値の達成は5割未満	④目標値の達成は5割未満
ふるさと投資により必要な資金を調達した企業者等の数（H28:0社 → H32:100社）	企画振興部	社	0	18	26	22	18	20	26	60	70	①目標値を達成	①目標値を達成

推進 5

プロジェクト名(事業期間)	くまもと版DMO推進プロジェクト (平成28年度～平成30年度)
プロジェクト概要	熊本地震で甚大な被害を受けた観光産業の再生・基幹産業化に向けて、本県の観光地域づくりを担う「くまもと版DMO」を構築するとともに、(株)くまもとDMCを核としたデータ収集・分析や復興支援等の取組みを展開する。

NO.	構成事業名	担当部局	実績額		平成30年度 事業実績
			総事業費(千円) (交付金 対象外含む)	うち交付金 (千円)	
1	くまもと版DMO推進事業	企画振興部	30,100	15,050	(株)くまもとDMCが実施する、インバウンド向け地域情報の発信、オプションツアー販売等の拠点となる4か国語対応のツアープラザを開設、「熊本の良い物」の情報を発信し購買につなげるグローバルECサイト【kumamoto24】の開設、地域商材を販売する菊鹿ワイナリーの売店のオープン等を支援。
			30,100	15,050	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	平成28年度増加分		平成29年度増加分		平成30年度増加分		平成28～30年度合計		平成30年度 評価	平成28～30年度合計 評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
延べ外国人宿泊者数 48万人(H26)⇒68万人(H30)	企画振興部	万人	48	2	-16	7	26	11	24	20	34	①目標値を達成	①目標値を達成
(株)くまもとDMC(仮称)のWEBサイトアクセス数 0件(H27)⇒320万件(H30)	企画振興部	万件	0	-	-	106	54	214	87	320	141	④目標値の達成は 5割未満	④目標値の達成は 5割未満
(株)くまもとDMC(仮称)のWEB事業売上 0円(H27)⇒ 37,890千円(H30)	企画振興部	千円	0	-	-	7,795	6,750	30,095	624	37,890	7,374	④目標値の達成は 5割未満	④目標値の達成は 5割未満

推進 6

プロジェクト名(事業期間)	がんばるけん！くまもとけん！企業再生・復興担い手確保プロジェクト（平成28年度～平成30年度）
プロジェクト概要	中小・小規模企業の再生・発展支援や県ブライ企業制度等を通じ、魅力ある雇用の場を創出するとともに、県内企業・熊本暮らしの魅力発信、企業と学生をつなぐ取組み等により、県内企業への就職を促進。また、新たなUIJターンの取組みや九州・山口が連携したインターンシップ事業等により県外人材を確保する。

NO.	構成事業名	担当部局	実績額		平成30年度 事業実績
			総事業費(千円) (交付金 対象外含む)	うち交付金 (千円)	
1	小規模企業サポート力強化事業	商工観光労働部	34,821	17,411	経営指導員等の総合的な支援能力の向上と小規模事業者等の経営課題の解決に向け、高度な支援体制を確立するため、小規模事業者支援を通じ、専門家のノウハウを活用した述べ497回(事業者数284者)のOJTを実施。
2	熊本県ブライ企業推進事業	商工観光労働部	15,941	7,970	若者の県外流出防止を図るため、ブライ企業を新たに95社認定(認定総数288社)し、その取組みをガイドブック等により学生に対し周知。また、県外学生等へ周知するため、福岡での広報やPRイベントを開催。
3	新規学卒者の県内就職率アップ推進事業	商工観光労働部	4,838	2,419	県内就職を促進するため、県内で「働く」「暮らす」魅力を伝える情報紙に県のページを設け、県内の学生や保護者に向け、年6回情報を発信。高校、大学、関係機関に配付し、一部の高校ではキャリア教育の教材として活用。
4	就活スタートアップ促進事業	商工観光労働部	4,968	2,484	県内就職を促進させるため、県内企業を見学するバスツアーを10回開催(述べ30社)し、延べ129名の大学生等が参加した。また、春季インターンシップ実施のためのマッチングイベントに企業100社、学生90名が参加し、うち40社と50名との間でマッチングが成立。
5	若者の九州ふるさと就職促進事業	商工観光労働部	8,980	4,490	東京圏からの若者人材の還流を促進するため、九州・山口8県が一体となって、東京圏の学生やUIJターン就職希望者を対象に共同インターンシップや合同会社面接会等を開催。 ※共同インターンシップ参加者=13名、合同会社説明会熊本県企業ブース訪問者=119名
6	くまもと復興人材UIJターン促進事業	商工観光労働部	17,202	8,601	熊本地震からの復興のための人材を確保するため、「熊本県UIJターン就職支援センター」によりUIJターン就職希望者と企業ニーズを掘り起し、マッチングを支援。 ※センター利用件数=726件、就職決定者数=72人
7	みらいの技能士育成事業	商工観光労働部	3,239	1,619	技能への理解促進のため、技能フェアを開催し、実演及びものづくり体験を3回実施(来場者=2,500名)するとともに、技能士経営力強化のため、団体への講習会を実施(講習会=2回、参加者=約30名)。また、技能人材育成のため、競技大会、技能検定講習会の経費を5団体に支援。
			89,989	44,994	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	平成28年度増加分		平成29年度増加分		平成30年度増加分		平成28～30年度合計		平成30年度 評価	平成28～30年度合計 評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
新規学卒者(県内大学)の県内就職率 42.4%(H28) → 57.4%(H32)	商工観光労働部	%	42.4	3	-2.5	3	4	3	-0.3	9	1.2	④目標値の達成は 5割未満	④目標値の達成は 5割未満
ブライ企業認定数 39社(H28)→239社(H32)	商工観光労働部	社	39	40	69	40	86	40	95	120	250	①目標値を達成	①目標値を達成
熊本県UIJターン就職支援センターによるUIJターン就職者数 0人(H28)→400人(H32)	商工観光労働部	人	0	0	13	100	67	100	72	200	152	②目標値の7割以上を達成	②目標値の7割以上を達成

推進 7

プロジェクト名(事業期間)	熊本都市圏東部地域をはじめとした創造的復興による地方創生プロジェクト（平成29年度～令和元年度）
プロジェクト概要	特に甚大な被害を受けた熊本都市圏東部地域のポテンシャルを最大限に活かした創造的復興を実現し、県経済を力強く牽引するとともに、誰もが安心して便利に暮らせる地域となるよう、空港の機能強化、防災力強化、観光産業再生による地方創生を実現。

NO.	構成事業名	担当部局	実績額		平成30年度 事業実績
			総事業費(千円) (交付金 対象外含む)	うち交付金 (千円)	
1	阿蘇くまもと空港拠点性向上事業	企画振興部	7,071	3,535	阿蘇くまもと空港へのアクセス改善のための調査を実施し、定時性、速達性及び大量輸送性に優れ、事業費を相対的に低く抑えることができる鉄道整備案が最良と選定するとともに、鉄道整備に関する基本的方向性についてJR九州からの同意を得た。
2	BCP策定等推進事業	商工観光労働部	6,462	3,190	中小企業が策定するBCPの実効性を高める訓練等を実施し、延べ33社に対し支援。また、策定の必要性の周知や支援を行う「くまもとBCPサポーター」を56名養成するなど支援人材を育成。
3	くまもと未来への復興人材育成事業	教育庁	2,125	1,063	専門高校生が、社寺の修復や二重峠トンネル、阿蘇大橋、熊本城の修復等現場にて現地学習を実施し、専門的な学びを深めた。また、避難所設営・運営を想定した学習や「みんなの家」訪問を通して、被災者(子ども、高齢者等)の生活課題に対応できる力を育成。
4	地域づくりチャレンジ推進事業(復興枠分)	企画振興部	57,020	28,510	地震の風評被害により減少した交流人口回復・拡大のため、スポーツ振興に係る事業を実施。また、地域団体が行う交流イベント等の取組みを支援。
5	熊本地震デジタルアーカイブ事業	知事公室	80,443	40,222	熊本地震に関連する資料の収集やデジタル化を行い、アーカイブサイトにて6万5千点(累計8万5千点)を公開。
6	「がんばろう！熊本」観光復興事業(阿蘇地域の観光施設等の支援事業)	商工観光労働部	4,574	2,287	阿蘇地域の観光復興と観光客が減少傾向にある冬の誘客策のため、福岡都市圏をターゲットとした「女子旅フォトブックin阿蘇」(20,000部)の作成・配付及び専用WEBサイトや公式Instagramでの情報発信を行い、阿蘇地域への誘客を推進。
7	「がんばろう！熊本」観光復興事業(被害に応じた新たな観光ルート開発事業)	商工観光労働部	13,694	6,847	着地型旅行商品の利用促進を図るため、オンライン系旅行会社と連携した情報発信を行い、県内各地域への誘客を推進。
8	熊本地震検証事業	知事公室	6,861	2,905	「熊本地震の復旧・復興の取組に関する検証報告書」の書籍化や検証報告書の内容を簡潔にまとめたリーフレットの作成等を行い、国や他県等に広く配布。
			178,251	88,559	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	平成29年度増加分		平成30年度増加分		平成30年度 評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	
阿蘇くまもと空港の利用者数 323万人(H27)→380万人(H33)	企画振興部	万人	323	7	36	10	12	①目標値を達成
地域資源を活かした交流人口減少に歯止めをかけるための取組みへの支援件数 9件(H28)→40件(H31)	企画振興部	件	9	14	17	14	11	②目標値の7割以上を達成
アーカイブ化のための資料収集件数 5万件(H28)→20万件(H31)	知事公室	万件	5	10	1	3	13	①目標値を達成

推進 8

プロジェクト名(事業期間)	ヘルスケア産業等の振興をはじめとした健康長寿プロジェクト（平成29年度～令和元年度）
プロジェクト概要	ヘルスケア産業をはじめとする自然共生型産業の振興を図るとともに、「健康づくりと観光」など新たなヘルスケア分野の開拓、健康志向を持続する健康長寿社会の構築を進め、健康志向をキーワードとする「しごと・ひと・まち」づくりを実現。

NO.	構成事業名	担当部局	実績額		平成30年度 事業実績
			総事業費(千円) (交付金 対象外含む)	うち交付金 (千円)	
1	異分野技術の融合によるニッチトップ創出支援事業	商工観光労働部	4,040	2,020	ニッチトップ企業を育成するために、農商工連携分野において、装置開発に向けた基盤技術調査及び検証、米ゲルの用途拡大を目的とした製品試作と評価を実施。また、医工連携分野では、多糖ナノファイバーの医工連携に関する用途開発(創傷被覆材、洗浄剤等の開発)を行い、ニッチトップ技術の創出を促進。
2	「食と健康」産業創出支援事業	商工観光労働部	3,006	1,503	県内企業6社の展示会出展等の販路拡大のサポートを実施。また、機能性食品に関する研修会や、製品開発に携わるバイオ技術者の養成講座を実施し、付加価値の高い製品を取り扱う新産業の創出を支援。
3	自然共生型産業創出支援事業	商工観光労働部	6,160	3,080	コーディネーターを4名配置し、企業間マッチング、個々の技術シーズの課題解決支援、商品開発支援、国の開発資金獲得へのアドバイスを実施。また、県内企業20社に対して支援を実施し、次の成果に繋がった。 ※企業間マッチング:1件、製品化・販路開拓:5件、大学等研究機関との連携:4件、補助金等の獲得:2件
4	自然共生型高付加価値産業促進事業	商工観光労働部	7,502	3,751	有機エレクトロニクス分野及びバイオ分野等の事業化を推進するため、試作品の開発・実証を4件支援。
5	くまもと型医療・福祉関連産業推進事業	商工観光労働部	6,600	3,300	県、熊本市、県工業連合会からなる「くまもと医工連携推進ネットワーク」により、医療・福祉機器の製品開発を2件支援。また、商談会(参加企業9社)の開催により県内外メーカーとのマッチングを支援。
6	地下水と土を育む農業総合推進事業	農林水産部	31,464	15,732	グリーン農業農産物に対する、消費者への理解促進のために、マルシェ、産地ツアー、料理教室等のイベントを開催。また、小学生向け学校教材の作成や、病院との連携による院内レストラン向けメニュー提供等を実施。
7	地下水保全堆肥広域流通促進事業	農林水産部	0	0	堆肥の広域流通に資する施設整備の支援を予定していたが、事業者が資材調達の遅延等の発生により補助事業の活用を断念したため、事業未実施。
8	飼料用米等利用拡大支援事業	農林水産部	4,671	2,022	飼料用米の利用拡大により、水田のフル活用、飼料自給率の向上及び飼料費の低減を図るため、肉用牛や乳用牛への飼料用米の給与実証を4事業主体で実施。
9	「歩き」を活かした地域活性化プロジェクト事業	企画振興部	17,558	8,779	「稼げる歩き」の仕組みづくりを進め、地域への経済効果に繋げ、持続可能な地域づくりを目指すため、地域コーディネーター等の新規養成・スキル向上やWebサイト構築を実施するとともに、国際シンポジウムを開催。
10	商店街にぎわい創出事業	商工観光労働部	11,450	5,725	地域の「にぎわい」回復促進のため、繁盛店づくりや店主の活動を支援するとともに、実践発表会開催等によりその効果を県内へ波及。また、商店街がニーズに応じて行う活性化事業、環境整備事業の取組みを8件支援。
11	総合型地域スポーツクラブ育成支援事業	教育庁	1,556	643	総合型地域スポーツクラブを育成するため、総合型地域スポーツクラブのクラブマネージャーや運営スタッフ等を対象とした研修会を実施し、県内各地から222名が参加。
12	健康長寿推進事業(くまもとスマートライフ推進事業)	健康福祉部	10,883	5,441	健康寿命を伸ばすための6つのアクション(運動、食生活、禁煙、健診・がん検診受診、歯と口腔ケア、休養)の推進に賛同し健康づくりを実践する企業・団体を「くまもとスマートライフプロジェクト応援団」として登録。また、社員・家族向けの啓発、企業を対象としたセミナーを開催。
			104,887	51,995	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	平成29年度増加分		平成30年度増加分		平成30年度 評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	
特定保健用食品、機能性表示食品及びくまもと「健康志向型プロダクト」認定製品数 5件(H28)→10件(H33)	商工観光労働部	件	5	1	1	1	2	①目標値を達成
フットパス利用者数 3,500人(H28)→8,000人(H33)	企画振興部	人	3,500	500	1256	600	649	①目標値を達成
職場ぐるみで健康づくりに取り組む企業・団体数(くまもとスマートライフプロジェクト応援団登録数) 165団体(H28.2)→300団体(H33)	健康福祉部	団体	165	27	779	27	195	①目標値を達成

推進 9

プロジェクト名(事業期間)	中山間地域におけるしごと創生・好循環プロジェクト（平成29年度～令和元年度）
プロジェクト概要	農業と林業の「収入の柱づくり」を通じた「担い手づくり」、竹材等の地域資源を活かしたしごと創生による「集落の維持・活性化」、「阿蘇草原再生の取り組み」を一体的・総合的に支援し、持続可能な中山間地域を実現。

NO.	構成事業名	担当部局	実績額		平成30年度 事業実績
			総事業費(千円) (交付金 対象外含む)	うち交付金 (千円)	
1	小ロット県産食材販路開拓支援事業	農林水産部	14,642	6,829	小ロット販売の拠点となる直売所等5施設に県外への販路開拓等を委託し、サンプル提供や商談会展等を実施するとともに、スーパーマーケット・トレードショー2019においてくまもとブースを設置し、県内38事業者の出展を支援。また、大都市圏卸売業者等を活用した県外への販路開拓支援を実施し、農産物等21品目の取引成立。
2	中山間地域等JA参入営農モデル事業	農林水産部	1,934	967	中山間地域での持続的な経営システムの確立を目指し、農業参入したJAの初期投資(トラクター、管理機等の営農機器の導入)を支援。
3	中山間地域等JA参入営農モデル事業 ※H29年度繰越分	農林水産部	16,959	8,479	中山間地域での持続的な経営システムの確立を目指し、農業参入したJAの初期投資(低コスト耐候性ハウス及びパイプハウスの導入)を支援。
4	農業法人の広域展開支援事業	農林水産部	2,842	1,421	中山間地域の雇用創出や農業法人の活性化のため、宇城市から産山村(中山間地)へ広域事業展開する法人が実施する農地整地や農舎改修等を支援。
5	地域林業担い手育成支援事業	農林水産部	3,774	1,887	地域林業の新たな担い手の育成を図り、意欲ある自伐林家の事業規模拡大または新たな経営体創設のため、集落の森林所有者による生産計画策定や機械導入等を支援。その結果、林業研究グループ等3団体が19haで素材生産を実施。
6	林業・建設業等連携促進対策事業	農林水産部	2,645	1,322	建設業の林業への参入を促すため、林業と建設業との連携による森林整備や素材生産活動を実施する人材の育成を推進。その結果、51社との連携協定を締結。
7	林建連携林業機械導入支援事業	農林水産部	0	0	森林組合を通じて建設業者に対し、事業の活用を周知したが、事業活用の要望がなく未実施。R1年度の活用促進のために、補助対象事業種の見直しを実施。
8	くまもとの木材流通システム支援事業	農林水産部	4,503	2,252	木材流通の効率化を図るため、モデル的な取組みとして3地区(阿蘇市、錦町、五木村)で中間土場の運営を支援し、木材5,890立方メートルを集積。
9	くまもとの木材グローバルセールス支援事業	農林水産部	8,316	4,158	県産木材の新たな販路拡大を図るため、中国をはじめとするアジア地域に加えアメリカも対象にしたプロモーションの実施や現地視察商談の支援等により輸出を促進。H30年度の木材輸出額は前年度18%増の2,392百万円
10	公共建築物等木造化推進事業	農林水産部	7,236	3,618	公共建築物等の木造化を推進するため、①公共施設等に対する技術支援、②行政担当者・建築士向け研修会等の開催、③木造建築物普及の手引等の発行、④木造建築物の普及のための広報を実施。
11	木造建築物イメージ回復対策事業	農林水産部	5,600	2,800	木造は地震に弱いといった誤ったイメージの払拭を図るため、普及冊子を作成・配布。H30年の木造率は全国よりも6ポイント高い63%。
12	くまもとの木の空間づくり支援事業	農林水産部	2,100	1,050	県産木材の利活用の推進するため、店舗等における県産木材を利用した内装の木質化などの改築等に伴う木材費等の経費を3件支援。
13	木造設計アドバイザー普及事業	土木部	288	144	市町村の木質化・木造化に対する知識の向上を図るため、芦北町総合コミュニティセンターの設計について、木造設計アドバイザーの派遣・助言を行い、設計に反映。
14	くまもと型木造伝統構法普及促進事業	土木部	8,748	4,374	県産材の利用拡大につながる伝統構法を用いた木造建築物の普及促進を図るため、伝統構法に係る部材実験及び課題検討等を行い、熊本県独自の伝統構法設計指針(案)を策定。
15	くまもと里モンプロジェクト推進事業	農林水産部	7,000	3,500	「美しい景観の保全、創造」、「文化・コミュニティの維持、創造」、「地域資源を活用した内発的産業の創造」の観点から幅広い取組みを呼び起こし、県民運動として持続可能な農山漁村を推進するため、県下全体で56件を支援。
16	バイオマス利活用推進事業	環境生活部	88	28	地域バイオマス利活用促進のため、県内市町村によるバイオマスを利用した取組みの紹介や、メタン発酵の課題解決をテーマとしたセミナーを開催。
17	レジデンスfor阿蘇世界文化遺産	企画振興部	6,181	3,081	海外のアーティストを阿蘇地域に招へいし、創作活動を実施。滞在期間中の作品展示や帰国後の発表活動により、阿蘇を国内外にアピール。
18	世界文化遺産登録推進事業(阿蘇世界文化遺産登録推進事業・共通業務の一部)	企画振興部	5,983	2,000	阿蘇の世界文化遺産登録に向け、学術委員会を設置し、世界遺産としてのコンセプトや顕著な普遍的価値等についての検討を実施。
19	世界農業遺産推進事業	農林水産部	4,387	2,194	世界農業遺産に認定された阿蘇地域において、世界農業遺産専門家会議からの助言等を踏まえ、改善計画に基づく世界農業遺産の保全や認知度向上、認定効果を発揮させる取組みの推進を支援。



20	放牧活用型草原等再生事業継続事業分を除く	農林水産部	94,099	8,344	阿蘇地域等において、放牧牛(繁殖雌牛)149頭の放牧実践農家への貸付けを実施し、牧野(草原)での放牧利用を推進。
21	ひと・うし・しごとづくり事業	農林水産部	3,531	1,766	畜産業のリーダーとなる人材の確保・育成に向けた取組みを推進するため、就農準備研修施設における研修生指導のための専門家の雇用に係る経費を支援。地域内の指導者による就農支援体制を構築。
22	国立公園満喫プロジェクト推進事業(施設整備等に関する全体計画調査分)	環境生活部	13,270	6,635	阿蘇くじゅう国立公園への来訪者の滞在時間増加に向け、公園内のジオサイトを活用した自然ガイドの育成(講習会2回、ワークショップ4回開催)を行い、7つのガイドツアーを造成。また、ジオサイト特有の自然体験ツアーの販売に向け、くもとDMCと連携して、WEBサイトの創設や店頭での販売などのワンストップ化を推進。
			214,125	66,848	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	平成29年度増加分		平成30年度増加分		平成30年度 評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	
中山間地域の就農者増加数(新規就農者、新規雇用就農者)及び竹の総合利活用に関する雇用創出 218人(H28)→1,393人(H33)	農林水産部 環境生活部	人	218	258	240	258	220	②目標値の7割以上を達成
素材生産量 120万m3(H29当初)→133万m3(H33)	農林水産部	万m3	120	5	1.4	5	10.2	①目標値を達成
阿蘇地域の放牧頭数 4,000頭(推計値)(H28)→5,450頭(H33)	農林水産部	頭	4,000	261	525	319	集計中	⑤実績値集計中

推進 10

プロジェクト名(事業期間)	「攻めの経営」「選ばれるしごと」による企業力向上プロジェクト（平成29年度～令和元年度）
プロジェクト概要	経営人材育成や生産性向上の取組みによる企業の総合力の向上と、ワークライフバランスや多様な働き方の推進など働き方改革による「選ばれるしごと」を創出し、若年者をはじめとする労働者の県内定着を実現。

NO.	構成事業名	担当部局	実績額		平成30年度 事業実績
			総事業費(千円) (交付金 対象外含む)	うち交付金 (千円)	
1	小規模サポート力強化事業	商工観光労働部	1,871	936	小規模事業者等の創業や経営革新計画策定等を支援するため、創業や各種補助金のセミナー等を計10回開催し、延べ783名が参加。
2	小規模企業等生産性向上推進事業	商工観光労働部	6,728	3,364	小規模事業者等の生産性向上推進のため、業種別セミナー(講演及びワークショップ)を計5回開催し、述べ120名が参加するとともに、経営力向上計画策定を支援。
3	熊本県ブライ企業推進事業(ブライ企業魅力アップ事業)	商工観光労働部	14,300	7,150	ブライ企業の労働環境や認知度の更なる向上のため、ブライ企業を対象とした処遇改善セミナーや保護者向けPRイベントを実施。また、ブライ企業の労働環境の向上等に資する優れた取組みを顕彰する制度を導入し、10社を表彰。
4	働きやすい職場改善促進事業	商工観光労働部	7,495	3,748	県内中小企業の働き方改革を促進するため、業種別・地域別セミナー、個別相談会、ワークショップの開催に加え、働き方改革に積極的な企業へアドバイザー派遣を実施。 ※セミナー参加者=153名、個別相談会参加社=6社、ワークショップ参加者=22名、アドバイザー派遣社=7社
5	熊本を支える産業人材育成事業	教育庁	3,609	1,676	工業高校生の専門性向上及び県内企業への理解促進のため、専門分野と直結する事業所でのインターンシップを実施。また、保護者の県内企業への理解を深め、生徒の県内企業への就職を促進するため、生徒と保護者による県内企業訪問を実施。
6	建設産業総合支援事業(女性の入職支援含む)	土木部	10,810	5,405	建設産業で働く女性の会「くまもと建麗会」の活動を支援するとともに、従業員の労働環境改善に取り組む企業21社を支援。また、工業高校土木科の体験入学において重機の実演を行うなど、建設産業のイメージアップ戦略事業を実施。
7	熊本型新規就農総合支援事業	農林水産部	61,161	30,580	新規就農者の確保推進のために、関連情報の発信等を実施。また県認定研修機関が実施する就農準備研修を支援し研修生50人を指導。また社会人49人に対する就農準備研修も実施した。
8	くまもと農のひとづくり事業(くまもと農業アカデミー) ※アカデミーのみ	農林水産部	8,473	4,236	県内の意欲ある農業者等の能力向上を図るため、農業研究センターや県立大学等の様々な機関が連携し、農業技術、農福連携、海外人材育成等に関する49の講座を開催し、1,755人が受講。
9	くまもと農業法人活動強化支援事業	農林水産部	7,000	3,500	更なる法人経営発展、新規就農者の確保や農地集積の促進に繋げるため、県内の農業法人の実態調査、動向調査、研修会や経営アドバイス等を実施。
10	担い手育成緊急支援事業(実態調査委託費)	農林水産部	2,000	1,000	認定農業者の経営力を強化し、新規就農者(後継者)及び雇用就農者を増やすために、認定農業者の経営状況や雇用等の状況を調査。約3,500経営体の調査結果を基に、くまもと農業経営相談所による経営改善セミナーや経営改善指導(専門家派遣)を実施。
			123,446	61,595	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	平成29年度増加分		平成30年度増加分		平成30年度 評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	
新規学卒者(県内大学)の県内就職率 42.4%(H28)⇒57.4%(H33)	商工観光労働部	%	42.4	3	4	3	-0.3	④目標値の達成は5割未満
新規就業者数(新規就農者と新規雇用就農者) 502人/年(H28)⇒544人/年(H33)	農林水産部	人/年	502	14	-39	14	39	④目標値の達成は5割未満
新卒者(中学・高校)の建設業就業者数 (H28)173人/年⇒(H33)180人/年	土木部	人/年	173	-19	-2	26	20	②目標値の7割以上を達成

推進 11

プロジェクト名(事業期間)	熊本県プロフェッショナル人材戦略拠点運営事業（平成29年度～令和元年度）
プロジェクト概要	地域企業の成長戦略を支援するため、県内に「プロフェッショナル人材戦略拠点」を設置し、「攻めの経営」や経営改善への意欲喚起や、県内外の「プロフェッショナル人材」の獲得を支援。

NO.	構成事業名	担当部局	実績額		平成30年度 事業実績
			総事業費(千円) (交付金 対象外含む)	うち交付金 (千円)	
1	プロフェッショナル人材戦略拠点運営事業	商工観光労働部	39,805	19,818	プロフェッショナル人材獲得を支援するため、215件の県内企業を訪問し、様々な経営課題に対するアドバイスや情報提供を行うことにより、22件のプロフェッショナル人材の採用が決定。
			39,805	19,818	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	平成29年度増加分		平成30年度増加分		平成30年度 評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	
成約件数 7件(H28)→50件(H31)	商工観光労働部	件	7	13	17	15	22	①目標値を達成
相談件数 283件(H28)→853件(H31)	商工観光労働部	件	283	170	196	200	215	①目標値を達成

推進 12

プロジェクト名(事業期間)	自然共生型産産を核とした地域未来投資促進プロジェクト<地域未来投資>（平成29年度～令和3年度）
プロジェクト概要	自然共生型産産の創出に向けて、新たな方式による未来型農業の実現や、強みのある商品の更なる生産性向上、高付加価値なヘルスケア商品の生産など、地域の事業者等への経済波及効果が期待できる地域経済牽引事業を支援。

NO.	構成事業名	担当部局	実績額		平成30年度 事業実績
			総事業費(千円) (交付金 対象外含む)	うち交付金 (千円)	
1	地域未来投資促進事業補助金(自然共生型産産分野)	商工観光労働部	90,202	45,101	地域の事業者等への高い経済的効果が期待できる地域経済牽引事業のうち、高付加価値な大豆製品を製造する設備導入及び蜂蜜製品等の生産工場整備事業の2件に対して、必要な施設整備及び設備投資を支援。
2	地域未来投資促進事業補助金(自然共生型産産分野) ※H29年度繰越分	商工観光労働部	235,728	117,864	地域の事業者等への高い経済的効果が期待できる地域経済牽引事業のうち、ベビーリーフの生産能力を強化した環境制御型ビニールハウス設置事業及び乳用経産牛を活用した販売拡大事業の2件に対して、必要な施設整備及び設備投資を支援。
3	社内イノベーションによる未来投資促進事業	商工観光労働部	10,926	5,463	地域経済牽引事業を継続的に創出するプロデューサー型人材(社内イノベーター)を育成するため、講義形式のプログラム及びワークショップ型の実践型プログラムの人材育成事業を実施し、合計20名が受講。
4	社内イノベーションによる未来投資促進事業 ※H29年度繰越分	商工観光労働部	1,822	911	イノベーションを活性化するエコシステム形成の必要性を広く訴求するセミナーの開催するとともに、県内企業を個別に訪問するなど社内イノベーター候補者を発掘。
			338,678	169,339	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	平成29年度増加分		平成30年度増加分		平成30年度 評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	
事業実施による新規雇用者数 0人(H28)⇒100人(H33)	商工観光労働部	人	0	-	-	25	集計中	⑤実績値集計中
社内イノベーターの育成数 0人(H28)⇒20人(H33)	商工観光労働部	人	0	-	-	10	20	①目標値を達成
地域経済牽引事業における支援の対象となる設備投資に対する支援事業者と支援事業者との取引額が多い過半の域内の事業者の売上額、取引額又は給与支払額の合計額の増加額 0円(H28)⇒2,816,000千円(H33)	商工観光労働部	千円	0	-	-	704,000	集計中	⑤実績値集計中

推進 13

プロジェクト名(事業期間)	IoTを活用した熊本発！未来投資促進プロジェクト<地域未来投資> (平成29年度～令和元年度)
プロジェクト概要	IoT、AI等を活用した農産物の流通促進や、医工連携による新商品の開発・生産、医療機器の試作環境の整備など、地域の事業者等への経済波及効果が期待できる地域経済牽引事業を支援。

NO.	構成事業名	担当部局	実績額		平成30年度 事業実績
			総事業費(千円) (交付金 対象外含む)	うち交付金 (千円)	
1	地域未来投資促進事業補助金(IOT、AI関連産業分野)	商工観光労働部	49,966	24,983	地域の事業者等への高い経済的効果が期待できる地域経済牽引事業のうち、加圧蒸気を利用する表面処理製品の高付加価値生産事業及び「スマートファクトリーシステム」の開発・販路拡大事業の2件に対して、必要な設備投資及び商品開発費を支援。
2	地域未来投資促進事業補助金(IOT、AI関連産業分野) ※H29年度繰越分	商工観光労働部	48,549	24,275	地域の事業者等への高い経済的効果が期待できる地域経済牽引事業のうち、IoTやAI、ロボットを活用した「次世代水産養殖システム」の整備事業1件に対して、必要な施設整備及び設備投資を支援。
3	社内イノベーションによる未来投資促進事業	商工観光労働部	10,926	5,463	地域経済牽引事業を継続的に創出するプロデューサ型人材(社内イノベータ)を育成するため、講義形式のプログラム及びワークショップ型の実践型プログラムの人材育成事業を実施し、合計20名が受講。
4	社内イノベーションによる未来投資促進事業 ※H29年度繰越分	商工観光労働部	1,822	911	イノベーションを活性化するエコシステム形成の必要性を広く訴求するセミナーの開催するとともに、県内企業を個別に訪問するなど社内イノベーター候補者を発掘。
			111,264	55,632	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	平成29年度増加分		平成30年度増加分		平成30年度 評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	
事業実施による新規雇用者数 0人(H28)⇒38人(H33)	商工観光労働部	人	0	-	-	8	集計中	⑤実績値集計中
社内イノベーターの育成数 0人(H28)⇒20人(H33)	商工観光労働部	人	0	-	-	10	20	①目標値を達成
地域経済牽引事業における支援の対象となる設備投資に対する支援事業者と支援事業者との取引額が多い過半の域内の事業者の売上額、取引額又は給与支払額の合計額の増加額 0円(H28)⇒820,000千円(H33)	商工観光労働部	千円	0	-	-	205,000	集計中	⑤実績値集計中

推進 14

プロジェクト名(事業期間)	地方創生未来型農業の拠点づくり支援プロジェクト<地域未来投資> (平成29年度～令和元年度)
プロジェクト概要	農産物の機能性に着目した新たな高付加価値商品の開発・販売や農業と地域社会をつなげる複合的アグリビジネスの展開など、「農業」の枠を超えて新たな付加価値を生む取組みを支援することで、熊本の創造的復興と地方創生を推進。

NO.	構成事業名	担当部局	実績額		平成30年度 事業実績
			総事業費(千円) (交付金 対象外含む)	うち交付金 (千円)	
1	地域経済牽引事業への重点的な支援	農林水産部	34,172	17,086	県産農産物を活用した菓子加工施設の整備、及び県産玄米ペーストの販路拡大に向けた市場調査等を支援。
2	地域経済牽引事業への重点的な支援 ※H29年度繰越分	農林水産部	278,640	50,000	国内外で人気の高い「菊鹿ワイン」ブランド商品の販路の拡大による、事業者の収益増加、地元雇用創出、交流人口の増加等を図るため、ワイン醸造施設・レストラン・直売施設が一体となったワイナリー整備を支援。
4	農産加工事業者への総合的な支援	農林水産部	3,140	1,570	農産加工事業者への加工品のブラッシュアップ支援や学識者による加工品開発個別指導などを実施。
			315,952	68,656	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	平成29年度増加分		平成30年度増加分		平成30年度 評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	
事業実施による支援事業者の新規雇用者数 0人(H28)⇒123人(H31)	農林水産部	人	0	13	1	35	15	④目標値の達成は5割未満
事業実施による観光拠点への来客数 0人(H28)⇒721,000人(H31)	農林水産部	人	0	30,000	0	333,000	56,314	④目標値の達成は5割未満
地域経済牽引事業における支援の対象となる設備投資に対する支援事業者と支援事業者との取引額が多い過半の域内の事業者の売上額、取引額又は給与支払額の合計額の増加額 0円(H28)⇒1,720,000千円(H31)	農林水産部	千円	0	573,000	162	573,000	157,800	④目標値の達成は5割未満

推進 15

プロジェクト名(事業期間)	環境負荷を抑制する循環型ビジネス等の構築に向けた地域未来投資促進プロジェクト<地域未来投資> (平成29年度～令和元年度)
プロジェクト概要	環境負荷を抑制する循環型ビジネス等の構築に向けて、地域の廃食油等を地域で消費する軽油代替燃料の製造・販売体制の構築や、荒廃竹林等の竹資源を総合活用するための竹の安定供給体制整備と竹建材の高付加価値化などを支援し、資源循環による産業振興を実現。

NO.	構成事業名	担当部局	実績額		平成30年度 事業実績
			総事業費(千円) (交付金 対象外含む)	うち交付金 (千円)	
1	竹資源の総合活用推進のための環境整備事業	環境生活部	0	0	事業者を公募し採択したが、関連した事業の遅延により、実施段階で計画変更が発生したため、R1年度に全額繰越した。
2	水銀回収処理システム構築のための支援	環境生活部	1,444	722	蛍光灯管水銀含有廃棄物の中間処理業者を県内で育成し、熊本モデルの回収・運搬～中間処理システムを構築するため、1業者に対し、破砕機等の整備、焼却炉用トレイの増加及び保管倉庫の整備、バグフィルターの更新による集塵機の機能強化を支援。
3	BDFや竹製品の認知度向上のための広報啓発事業	環境生活部	34	17	未利用資源としての竹を使用したリサイクル認証製品をPRするためのパンフレットを作成。
			1,478	739	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	平成29年度増加分		平成30年度増加分		平成30年度 評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	
事業実施による雇用者数 0人(H29)⇒244人(H33)	環境生活部	人	0	73	41	73	15	④目標値の達成は5割未満
B5販売量 50kl(H28)⇒5,210kl(H33)	環境生活部	kl	50	250	31	3,020	101	④目標値の達成は5割未満
竹切出し量 0t(H29)⇒60,000t(H33)	環境生活部	t	0	3,000	878	18,000	3344	④目標値の達成は5割未満
事業実施による販売額 4,500千円(H29)⇒5,356,300千円(H33)	環境生活部	千円	4,500	108,250	10,331	2,185,100	46,085	④目標値の達成は5割未満

推進 16

プロジェクト名(事業期間)	熊本地震の震災遺構等を活用した回廊型フィールドミュージアムによる交流人口拡大プロジェクト（平成30年度～令和2年度）
プロジェクト概要	地震断層等の震災遺構を巡る回廊型フィールドミュージアムを実現し、熊本地震の記憶や経験、教訓を国内外に発信することで防災・減災の取組に貢献する。さらに回廊ルートを新たな観光資源と捉え、県内の観光地とつなぎ巡ることで、交流人口の拡大を図るとともに、地域産業の振興や地域の活性化を図る。

NO.	構成事業名	担当部局	実績額		平成30年度 事業実績
			総事業費(千円) (交付金 対象外含む)	うち交付金 (千円)	
1	熊本地震震災ミュージアム(仮称)の具体化推進事業	知事公室	57,969	28,985	震災ミュージアムの中核拠点の具体化に向けて、震災遺構(地震断層や東海大学阿蘇キャンパス1号館)の保存に向けた調査や保存設計を実施。また、地震の記憶の風化を防ぐため、パイロットツアーを6回実施し、県外からの参加者64名を含む述べ223人が参加。
2	熊本地震デジタルアーカイブ事業	知事公室	32,087	16,543	熊本地震の記憶の風化を防ぐとともに、その経験や教訓を伝承するため、語り部等の記録映像や、熊本地震の記録を活用した啓発映像を制作。
			90,056	45,527	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	平成30年度増加分		平成30年度 評価
				目標値	実績値	
回廊型フィールドミュージアム訪問者数 0人(H29)⇒20,000人(H32)	知事公室	人	0	400	3,333	①目標値を達成
震災遺構や熊本地震を伝える拠点を巡るツアー参加者数 0人(H29)⇒2,000人(H32)	知事公室	人	0	200	223	①目標値を達成
回廊型フィールドミュージアム訪問による観光消費額の増加額 0円(H29)⇒196,000千円(H32)	知事公室	千円	0	3,920	19,550	①目標値を達成

推進 17

プロジェクト名(事業期間)	くまもと県南フードバレー 地域農産物活用拠点強化プロジェクト（平成30年度～令和2年度）
プロジェクト概要	県南地域の農産物に対するBtoB市場を中心としたニーズ獲得に向け、地域商社を活用した販路開拓や、高い処理能力・機能を持つ農産物の一次加工等を行う地域拠点整備を推進し、食産業の集積(フードバレーの形成)による地方創生を推進する。

NO.	構成事業名	担当部局	実績額		平成30年度 事業実績
			総事業費(千円) (交付金 対象外含む)	うち交付金 (千円)	
1	フードバレー地域農産物加工施設整備支援事業(一次加工所等整備)	農林水産部	50,857	25,429	地域経済牽引事業者による筍・栗等の一次加工やレトルト商品の製造及びイチゴの搾汁や果汁・飲料製造に関する設備及び施設の整備を2件支援。
2	フードバレー地域農産物加工施設整備支援事業(販路開拓)	農林水産部	20,541	10,270	地域商社である榊KASSE JAPANとフードバレー推進協議会が連携し、BtoB市場を中心とした販路開拓支援や商品開発支援等を実施。
			71,398	35,699	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	平成30年度増加分		平成30年度 評価
				目標値	実績値	
当事業の支援による施設整備等に伴う地域経済牽引事業者による新規雇用者数 0人(H29)⇒45人(H33)	農林水産部	人	0	2	3	①目標値を達成
当事業の支援により施設整備等を行った地域経済牽引事業者及びその地域経済牽引事業者との取引額が多い地域事業者の施設整備等をしてから3年後の売上の合計額 878,000千円(ハード事業による設備投資補助予定総額 439,000千円の2倍)	農林水産部	千円	0	-	-	⑥令和元年度以降にKPIを設定
地域経済牽引事業者及び地域事業者によるBtoB関係の新規取引(契約)件数 0件(H29)⇒50件(H33) ※一次加工・OEM等	農林水産部	件	0	5	17	①目標値を達成

推進 18

プロジェクト名(事業期間)	阿蘇カルデラのめぐみを活用した観光産業創造事業（平成30年度～令和2年度）
プロジェクト概要	阿蘇山上から全方位で楽しめる異なるコンテンツ・アクティビティを充実させ、それらを繋ぐ阿蘇観光周遊ルートを確立することで、日帰り・通過型の観光地から周遊・滞在型の観光地へ転換し、地域内全体へ経済波及効果をもたらすよう官民協働で各事業に取り組む。

NO.	構成事業名	担当部局	実績額		平成30年度 事業実績
			総事業費(千円) (交付金 対象外含む)	うち交付金 (千円)	
1	くまもとの復興を牽引する観光産業創造事業(プログラムコーディネート支援)	商工観光労働部	5,999	2,999	阿蘇地域の周遊性・滞在性を高めるため、阿蘇地域の観光素材情報収集や観光客のニーズと地元のマッチング(プログラムやモデルコースの提案)を実施し、3本の旅行商品プログラムを造成。
2	くまもとの復興を牽引する観光産業創造事業(阿蘇山上の観光産業再興)	商工観光労働部	19,398	9,699	阿蘇山上の魅力向上と観光客の満足度向上のため、火山ガスの影響等で阿蘇中岳火口見学ができない場合でも、阿蘇ジオパークを体感できるようなVR映像の制作(3本)及びVR体験環境を整備し、阿蘇山上への誘客を推進。
3	くまもとの復興を牽引する観光産業創造事業(地域の拠点となる観光拠点強化事業)	商工観光労働部	20,000	10,000	阿蘇地域の周遊性・滞在性を高めるため、地域経済牽引事業者2者に対して、「産学官連携による農業体験施設」と「バイク・サイクリングツーリズム拠点施設」に必要な施設設備投資を支援。
			45,397	22,699	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	平成30年度増加分		平成30年度 評価
				目標値	実績値	
事業を通じて新たな観光コンテンツの開発や施設整備を行った拠点施設への入場者数の増加 0人(H29)⇒152,000人(H32)	商工観光労働部	人	0	49,000	134	④目標値の達成は5割未満
事業を通じて新たな観光コンテンツの開発や施設整備を行った拠点施設における阿蘇地域在住者雇用者数 0人(H29)⇒14人(H32)	商工観光労働部	人	0	5	5	①目標値を達成
事業を通じて新たな観光コンテンツの開発や施設整備を行った拠点施設を巡る旅行商品プログラムの造成数 0本(H29)⇒15本(H32)	商工観光労働部	本	0	3	3	①目標値を達成

推進 19

プロジェクト名(事業期間)	「くまもとはたらく」若者の県内定着促進プロジェクト（平成30年度～令和2年度）
プロジェクト概要	深刻化する人口流出と、それに伴う県内企業の人手不足を解消するため、地元就職の促進に効果的な年代である若者(学生)をターゲットとし、Uターン就職の支援や県内就職に関する情報発信等を実施することにより、若者の県内への「還流」と「定着」を促進し、将来の熊本を支え、次代を担う人材の確保を目指す。

NO.	構成事業名	担当部局	実績額		平成30年度 事業実績
			総事業費(千円) (交付金 対象外含む)	うち交付金 (千円)	
1	若者の県内定着促進事業	商工観光労働部	20,450	10,225	学生等の若者の帰省時期である年末年始に合わせ、県内でのテレビCMや公共交通機関での広告など、広く本県のUターン就職支援施策のPRを実施。また、県外大学におけるUターン状況調査や県内事業所の定着状況調査など、若者の就職実態の調査を実施。
			20,450	10,225	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	平成30年度増加分		平成30年度 評価
				目標値	実績値	
「Uターン就職サポーター(仮)」を通じて熊本へUIターン就職をした新卒学生数 0人(H29)⇒110人(H32)	商工観光労働部	人	0	-	-	⑥令和元年度以降にKPIを設定
「新規卒業者(県内大学)の県内就職率」 39.9%(H28)⇒57.9%(H32)	商工観光労働部	%	39.9	6	3.6	③目標値の5割以上を達成
「ブライト企業」に就職した新卒学生数 646人(H29)⇒1,246人(H32)	商工観光労働部	人	646	200	1,251	①目標値を達成



推進 20

プロジェクト名(事業期間)	大河ドラマを契機とした県北地域の広域周遊観光プロジェクト（平成30年度～令和2年度）
プロジェクト概要	NHK大河ドラマ「いだてん」の放送を契機として、主人公の金栗四三氏ゆかりの玉名市・和水町における新たな観光素材の創出や磨き上げ、住民を含む官民一体となった観光客受入体制の整備等により観光振興を図ると同時に、誘客効果の持続や県北全域への周遊を促進する広域的な取組みにより、地域全体の活性化を目指す。

NO.	構成事業名	担当部局	実績額		平成30年度 事業実績
			総事業費(千円) (交付金 対象外含む)	うち交付金 (千円)	
1	大河ドラマを活用した広域観光振興事業	商工観光労働部	34,879	17,440	新幹線のラッピング、各種イベント及びメディア等を活用した県内外への情報発信を行い、認知度向上及び観光誘客を促進。また、誘客効果の持続・発展及び周遊観光の拡大を図るため、ゆかりの地や県内全域のロケ地等を広域周遊することができるガイドブックを作成。
			34,879	17,440	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	平成30年度増加分		平成30年度 評価
				目標値	実績値	
玉名市及び和水町日帰り客数 191万人(H28)⇒333万人(H32)	商工観光労働部	人	1,910,000	473,330	集計中	⑤実績値集計中
大河ドラマ化を記念したマラソン大会参加者数 玉名市 0人(H29)⇒5,000人(H32) 和水町 1,400人(H29)⇒2,000人(H32)	商工観光労働部	人	1,400	200	582	①目標値を達成
金栗氏に関連した商品の開発数 0件(H29)⇒100件(H32)	商工観光労働部	件	0	50	239	①目標値を達成



地方創生拠点整備交付金事業  
(平成30年度実施)

拠点 1

交付対象事業(プロジェクト名)	産業技術拠点高度化プロジェクト ※平成29年度繰越分	担当部局	商工観光労働部
事業概要	本県産業振興戦略の要、技術拠点である産業技術センターを復旧・機能強化し、自然共生型産業などニッチトップ企業創出と高精度3Dものづくり基盤の強化による地方創生を推進。	実績額	
平成30年度 事業実績	センター施設設備の復旧・機能強化のための改築・増築工事を実施。ニッチトップ技術の創出支援のため、米ゲルの用途拡大を目途とした製品試作と保存技術の研究開発、多糖ナノファイバーの医工連携に関する用途開発を実施。また、H29年度に導入した3Dプリンタシステムを活用し、IoT技術や3Dものづくり技術の地域企業への普及及び人材育成を図るための技術講習会を開催。	総事業費(千円) (交付金対象外含む)	うち交付金 (千円)
		163,611	81,805

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	平成28年度増加分		平成29年度増加分		平成30年度増加分		平成30年度 評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	
ニッチトップ事業創出に伴う県内企業雇用数 0人(H28)→113人(H32)	商工観光労働部	人	0	-	-	3	4	7	5	②目標値の7割以上を達成
ニッチトップ事業創出関連参画企業数及び3Dものづくりシステムを活用した新商品開発企業数(社) 60社(H28)→647社(H32)	商工観光労働部	社	60	60	84	98	98	124	78	③目標値の5割以上を達成
センター受託事業収入(千円) 30,820千円(H28)→48,265千円(H32)	商工観光労働部	千円	30,820	-	-	6,700	11,449	3,266	14,514	①目標値を達成

拠点 2

交付対象事業(プロジェクト名)	県産材利用促進のための研究開発・技術支援の拠点強化プロジェクト ※平成29年度繰越分	担当部局	農林水産部
事業概要	豊富な森林資源及び先行技術を活用して直材(A材)の需要を拡大し、木材産業や森林所有者が裨益する「林業の成長産業化・木材産業の活性化」による地方創生を推進。	実績額	
平成30年度 事業実績	先行技術を活用した公共建築物の木造化に必要な材料性能を評価する実大曲げ試験施設を整備し、性能評価向上のための研究に着手。また、直材の需要拡大に不可欠な高品質の製品製造を研究するための天然乾燥・養生施設を整備。	総事業費(千円) (交付金対象外含む)	うち交付金 (千円)
		123,905	61,953

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	平成28年度増加分		平成29年度増加分		平成30年度増加分		平成30年度 評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	
接着重ね材等の新製品の売上額 225百万円/年(H28) → 360百万円/年(H32)	農林水産部	百万円	225.00	-	-	-	-	45.00	145.00	①目標値を達成
大断面・長尺乾燥製材品の売上額 373百万円/年(H28) → 594百万円/年(H32)	農林水産部	百万円	372.75	-	-	-7.35	0	81.94	-13.63	④目標値の達成は5割未満
製品開発による森林所有者の丸太生産による収入額 276百万円/年(H28) → 434百万円/年(H32)	農林水産部	百万円	275.63	-	-	-6.13	0	58.11	-9.45	④目標値の達成は5割未満

### 拠点 3

交付対象事業(プロジェクト名)	攻めの中山間地域のための新たな茶業モデル拠点形成プロジェクト ※平成29年度繰越分	担当部局	農林水産部
事業概要	①ICT技術の導入による効率的・低コストな茶園管理、②製造機器更新による製茶コストの低減、③多様化するニーズを捉えた茶種生産、④生産・製造拠点の集約化の推進によって、中山間地域の持続可能な茶業経営を実現。	実績額	
平成30年度 事業実績	農家所得の向上を図り、県産茶業の持続的発展を実現するため、攻めの中山間地域農業のための新たな茶業モデル拠点構築として、ハイブリッド製茶ライン及び専用製茶工場の施設整備を完了。また、センシング技術を活用した生育診断研究に着手。	総事業費(千円) (交付金対象外含む)	うち交付金 (千円)
		205,476	102,738

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	平成28年度増加分		平成29年度増加分		平成30年度増加分		平成30年度 評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	
単位収量増加による所得向上 180百万円増(H32)	農林水産部	百万円	0	-	-	-	-	30.0	0.2	④目標値の達成は5割未満
荒茶販売量増加による所得向上 80百万円増(H32)	農林水産部	百万円	0	-	-	-	-	3.6	0.6	④目標値の達成は5割未満
茶製造コストの減少による所得向上 18百万円削減(H32)	農林水産部	百万円	0	-	-	-	-	-	-	⑥令和元年度以降にKPIを設定

### 拠点 4

交付対象事業(プロジェクト名)	農業・農村活性化のための担い手育成・交流拠点整備プロジェクト ※平成29年度繰越分	担当部局	農林水産部
事業概要	全国に先駆けた官民協働の農業研修体制を活かし、農福連携の促進、農業の観光ビジネス促進等による地方創生人材(中山間地農業・農村を支える人材、国際人材)の育成、外国人農業実習生等への研修機会の提供による地方創生を推進。	実績額	
平成30年度 事業実績	次代の本県農業を担う優れた農業経営者の養成を図るため、新たに農業大学校研修交流館を建設し、H31年4月から利用を開始。	総事業費(千円) (交付金対象外含む)	うち交付金 (千円)
		542,350	271,174

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	平成28年度増加分		平成29年度増加分		平成30年度増加分		平成30年度 評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	
受講した外国人農業技能実習生、海外研修生等の数 0人(H28)→140人(H32)	農林水産部	人	0	-	-	20	0	20	65	①目標値を達成
農福連携講座を受講した指導者が属する農業法人等における障害者の雇用数 0人(H28)→100人(H32)	農林水産部	人	0	-	-	-	-	-	-	⑥令和元年度以降にKPIを設定
新ビジネス創出による農家所得の増加 0万円(H28)→2,000万円(H32)	農林水産部	万円	0	-	-	-	-	-	-	⑥令和元年度以降にKPIを設定

拠点 5

交付対象事業(プロジェクト名)	「旅客ターミナル」を核とするみなと活性化プロジェクト ※平成29年度繰越分	担当部局	土木部
事業概要	災害復旧と併せた「リノベーション」により観光・物産・交流機能の強化を図り、ターミナルビルの「集客力」及び「収益力」を高め、しごと創生、交流人口の拡大による地方創生を推進。	実績額	
平成30年度 事業実績	熊本地震により被災した熊本港旅客ターミナルの災害復旧を完了。また、観光・物産・交流の拠点機能の拡充・強化のため、待合所の情報発信スペースの改修、子供の遊び場、くまモン交流スペース等のリノベーションを実施。	総事業費(千円) (交付金対象外含む)	うち交付金 (千円)
		117,786	43,438

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	平成28年度増加分		平成29年度増加分		平成30年度増加分		平成30年度 評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	
フェリー施設全体の売上高の増加 130百万円/年(H27)→282百万円/年(H32)	土木部	百万円/年	130	-	-	-	-	152.91	-15	④目標値の達成は5割未満
ターミナルを目的に来訪する利用者の増加 5.4万人(H28)→7.2万人(H32)	土木部	万人	5.4	-	-	-	-	0.6	-0.6	④目標値の達成は5割未満
ターミナルにある物産館・カフェ等における雇用者数の増加 12人(H28)→18人(H32)	土木部	人	12	-	-	-	-	6	0	④目標値の達成は5割未満

拠点 6

交付対象事業(プロジェクト名)	次世代型平坦地域農業ローカルイノベーション拠点形成プロジェクト ※平成29年度繰越分	担当部局	農林水産部
事業概要	ICT技術を活用した次世代型施設園芸技術を確立し、生産者の経験・勘に頼る部分が大きかった施設園芸の低コスト化、品質向上・収量増加、出荷予測などにより本県農業の競争力強化を図り、農業を基軸とした地方創生を推進。	実績額	
平成30年度 事業実績	本県農業の持続的発展のためのICT技術等を活用した次世代型施設園芸技術の研究・開発を行い、販売額の増加を図るため、複合環境施設の整備を完了。促成トマトの栽培研究を開始するとともに、センシング技術を活用した生育診断研究に着手。	総事業費(千円) (交付金対象外含む)	うち交付金 (千円)
		45,025	22,512

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	平成28年度増加分		平成29年度増加分		平成30年度増加分		平成30年度 評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	
大規模施設野菜(促成トマト)の単位収量増加による販売額増加 1,722百万円増(H32)	農林水産部	百万円	43,522.5	-	-	-	-	287	集計中	④目標値の達成は5割未満
大規模施設野菜(促成トマト)の販売単価上昇による販売額増加 185百万円増(H32)	農林水産部	百万円	43,522.5	-	-	-	-	-	-	⑥令和元年度以降にKPIを設定
大規模施設野菜(促成ナス)の単位収量増加による販売額増加 106百万円増(H32)	農林水産部	百万円	8,863.8	-	-	-	-	-	-	⑥令和元年度以降にKPIを設定

拠点 7

交付対象事業(プロジェクト名)	阿蘇の景観維持のための高原農業モデル拠点形成プロジェクト ※平成29年度繰越分	担当部局	農林水産部
事業概要	熊本県高原農業研究所における阿蘇の景観維持のための野草堆肥の活用によるブランド化、IoT活用による低コスト・省力化、新たな作物導入により、農業所得を向上し、阿蘇地域の景観維持を担う農業・農村の担い手を確保。	実績額	
平成30年度 事業実績	高冷地域の冷涼な気候を生かした新品種の導入及び良食味米の安定生産技術を開発し、販売額の増加を図るため、穀物乾燥・貯蔵施設等の整備を完了。水稻やエゴマ等の試験栽培を開始するとともに、分析装置を活用した良食味米研究に着手。	総事業費(千円) (交付金対象外含む)	うち交付金 (千円)
		21,395	10,697

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	平成28年度増加分		平成29年度増加分		平成30年度増加分		平成30年度 評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	
夏秋トマトの単位収量増加による販売額増加 213百万円増(H32)	農林水産部	百万円	9,886.8	-	-	-	-	-	-	⑥令和元年度以降にKPIを設定
米の新品種導入に伴う単位収量増加による販売額増加 33百万円増(H32)	農林水産部	百万円	2,457	-	-	-	-	5.5	1.2	④目標値の達成は5割未満
新品目(エゴマ)導入による販売額増加 10百万円増(H32)	農林水産部	百万円	0	-	-	-	-	-	-	⑥令和元年度以降にKPIを設定

拠点 8

交付対象事業(プロジェクト名)	畜産新技術導入による生産性・競争力強化プロジェクト	担当部局	農林水産部
事業概要	畜産の生産性向上のための新技術と、競争力強化のための各種技術を習得できる教育施設を農業大学校内に整備する。これらの技術を習得した担い手が、県内各地域で生産性革命を起こし、担い手不足や購入飼料費の高騰等で閉塞的になっている地域の畜産生産性を向上させ、地域経済の活性化を図り地方創生を推進。	実績額	
平成30年度 事業実績	次代の本県農業を担う優れた農業経営者の育成を図るため、新たなスマート畜舎、発酵TMR製造施設等の実施設計を完了し、本体工事に着手。R1年度に完了予定。	総事業費(千円) (交付金対象外含む)	うち交付金 (千円)
		106,886	53,367

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	平成30年度増加分		平成30年度 評価
				目標値	実績値	
本校畜産学科卒業者が従事する畜産経営体の所得向上 100%(H29)→103%(H34)	農林水産部	%	100	-	-	⑥令和元年度以降にKPIを設定
発情発見分娩管理システム導入による繁殖成績(毎年子牛を生む雌の割合)向上 46%(H29)→50%(H34)	農林水産部	%	46	-	-	⑥令和元年度以降にKPIを設定
農業大学校における畜産物加工レシピ作成数 0点(H29)→7点(H34までの累計)	農林水産部	点	0	1	1	①目標値を達成

拠点 9

交付対象事業(プロジェクト名)	海藻増養殖研究機能強化による海藻の生産性革命プロジェクト	担当部局	農林水産部
事業概要	海藻増養殖研究施設及び研修機能を熊本県水産研究センター内に整備し、海藻の新たな増養殖技術開発と次世代を担う優れた人材の育成を強化することで、地域漁業者の生産性革命を起こし、地域経済の活性化を図り地方創生を推進。	実績額	
平成30年度 事業実績	海藻の新たな増養殖技術開発と漁業者に海藻に関する実地技術研修を行い、優れた人材の育成を図るため、海藻研究施設、付帯研究設備、研修用水槽等の環境教育設備を整備。	総事業費(千円) (交付金対象外含む)	うち交付金 (千円)
		127,034	63,517

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	平成30年度増加分		平成30年度 評価
				目標値	実績値	
採藻漁業及び海藻養殖業のうち、対象とする主要海藻4種の生産額 250百万円(H28)→300百万円(H34)	農林水産部	百万円	250	-	-	⑥令和元年度以降にKPIを設定
本研究施設で海藻を飼育・培養ができる実地技術研修を受講する漁業者数 0人(H28)→800人(H34までの累計)	農林水産部	人	0	-	-	⑥令和元年度以降にKPIを設定
本研究施設で行う新たな海藻類増養殖技術開発数 0件(H28)⇒24件(H34までの累計)	農林水産部	件	0	-	-	⑥令和元年度以降にKPIを設定

拠点 10

交付対象事業(プロジェクト名)	林業生産性向上のための研修拠点強化プロジェクト	担当部局	農林水産部
事業概要	林業の技術力・生産性向上のための技術を習得できる教育施設を林業研究所内に整備し、これらの技術を習得した人材が、豊富な森林資源の有効活用を促進し、林業の成長産業化による地方創生を推進。	実績額	
平成30年度 事業実績	林業従事者の林業生産性向上を図るため、林業従事者等に対する研修や、林業研究・研修センターにおける研究成果の情報発信の場として整備する研修館等の実施設計を完了し、工事に着手。併せて、伐倒安全訓練設備導入及び機械運転等実技スペースを整備。R1年度に完了予定。	総事業費(千円) (交付金対象外含む)	うち交付金 (千円)
		192,512	96,256

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	平成30年度増加分		平成30年度 評価
				目標値	実績値	
研修を受講した県内認定事業体における素材生産の労働生産性 5.1m <sup>3</sup> /人日(H29)→7.1m <sup>3</sup> /人日(H34)	農林水産部	m <sup>3</sup> /人日	5.1	-	-	⑥令和元年度以降にKPIを設定
研修を受講した県内認定事業体の素材生産に係る従業者数 578人(H29)→640人(H34)	農林水産部	人	578	-	-	⑥令和元年度以降にKPIを設定
研修を受講した県内認定事業体の素材生産量 558千m <sup>3</sup> /年(H29)→860千m <sup>3</sup> /年(H34)	農林水産部	千m <sup>3</sup> /年	558	-	-	⑥令和元年度以降にKPIを設定



拠点 11

交付対象事業(プロジェクト名)	阿蘇草原を活用した畜産農家の放牧・飼養管理生産性革命プロジェクト	担当部局	農林水産部
事業概要	ICT,IoT技術を活用した肉用牛等生産技術の開発やドローン等による画像解析技術を利用した草地の管理方式、並びに畜産技術を有する人材育成により、草原を活用した畜産業の生産性を向上させ、阿蘇の草原再生と地方創生を推進。	実績額	
平成30年度 事業実績	研究拠点整備により、肉用牛生産の技術開発並びに人材育成を図るため、施設の実施設設計及び既存施設の解体を完了し、リモート家畜管理施設及び肉用牛等繁殖技術研究施設の工事に着手。R1年度に完了予定。	総事業費(千円) (交付金対象外含む)	うち交付金 (千円)
		26,209	13,105

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	平成30年度増加分		平成30年度 評価
				目標値	実績値	
新たな放牧実施による経費削減効果 0千円(H26)→31,318千円(H34までの累計)	農林水産部	千円	0	-	-	⑥令和元年度以降にKPIを設定
放牧管理及び繁殖管理の省力化技術の開発数(成果情報等) 0件(H26)→2件(H34までの累計)	農林水産部	件	0	-	-	⑥令和元年度以降にKPIを設定
繁殖・放牧管理技術等の研修受講者数 0人(H26)→50人(H34までの累計)	農林水産部	人	0	-	-	⑥令和元年度以降にKPIを設定

拠点 12

交付対象事業(プロジェクト名)	先端技術を活用した畜産の生産性革命プロジェクト	担当部局	農林水産部
事業概要	先端技術を活用した育種改良、家畜飼養管理技術の開発等を行う拠点施設の整備を図り、ICTを活用した酪農経営、輸入豚肉に対抗した国産豚肉生産、輸出を目指した地鶏生産等の生産性革命による地方創生を推進。	実績額	
平成30年度 事業実績	研究拠点整備により、省力・低コスト生産、経営の安定、ブランド力の強化を図るため、各施設等の実施設計を完了し、養豚の人工授精研究施設の整備を完了。その他の酪農施設等については、本体工事に着手。R1年度に完了予定。	総事業費(千円) (交付金対象外含む)	うち交付金 (千円)
		134,219	67,110

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	平成30年度増加分		平成30年度 評価
				目標値	実績値	
県内天草大王の単価及び出荷羽数増による販売額 204,000千円(H28)→402,900千円(H34)	農林水産部	千円	204,000	-	-	⑥令和元年度以降にKPIを設定
県内養豚農家における県有高能力デュロック種豚の人工授精用精液利用量 100本(H28)→3,100本(H34)	農林水産部	本	100	-	-	⑥令和元年度以降にKPIを設定
ICTを活用した搾乳・飼養管理技術の開発数(熊本県農業研究成果情報) 0件(H27)→4件(H34までの累計)	農林水産部	件	0	-	-	⑥令和元年度以降にKPIを設定

拠点 13

交付対象事業(プロジェクト名)	長期貯蔵による農産物の生産性向上・高付加価値化拠点形成プロジェクト	担当部局	農林水産部
事業概要	農産物の長期貯蔵技術確立のための施設をアグリシステム総合研究所に整備し、販売チャネルの拡大や安定出荷の生産性革命により農家所得を向上させ、地域経済の活性化を図り地方創生を推進。	実績額	
平成30年度 事業実績	生産者数の減少が続いている野菜類について、販売チャネルの拡大と安定出荷により、輸出増加を図るため、長期貯蔵技術を研究する施設の実施設計を完了。R1年度に本体工事に着手し、完了予定。	総事業費(千円) (交付金対象外含む)	うち交付金 (千円)
		19,622	9,811

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	平成30年度増加分		平成30年度 評価
				目標値	実績値	
主力品目であるトマトの船舶輸出額の増加 6百万円(H27)→375百万円(H34)	農林水産部	百万円	6	-	-	⑥令和元年度以降にKPIを設定
輸出マニュアル作成品目数 0品目(H27)→10品目(H34までの累計)	農林水産部	品目	0	-	-	⑥令和元年度以降にKPIを設定
長期保存向け栽培技術の技術移転農家数 0戸(H27)→121戸(H34までの累計)	農林水産部	戸	0	-	-	⑥令和元年度以降にKPIを設定

拠点 14

交付対象事業(プロジェクト名)	情報通信及び解析技術を活用した施設園芸の統合環境制御による生産性向上プロジェクト	担当部局	農林水産部
事業概要	生産量日本一を誇るトマトに代表される全国有数の施設園芸産地において、環境制御機能を備えた研究施設を整備し、栽培管理条件最適化等による生産性革命と経営体質強化により、地域経済の活性化を図り地方創生を推進。	実績額	
平成30年度 事業実績	研究拠点整備により、地域の中堅・中小・小規模事業者である農家の土地生産性及び労働生産性を高めるため、情報通信及び解析技術を活用した施設園芸等を開発する各施設の実施設計を完了し、本体工事に着手。R1年度に完了予定。	総事業費(千円) (交付金対象外含む)	うち交付金 (千円)
		32,800	14,727

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	平成30年度増加分		平成30年度 評価
				目標値	実績値	
高度環境制御システム導入圃場(冬春トマト(ミニトマトを除く))の販売額 4,031百万円(H26～H28平均)→5,323百万円(H34)	農林水産部	百万円	4,031	-	-	⑥令和元年度以降にKPIを設定
熊本県農業研究成果情報(環境制御技術、新品種、病害虫発生予測システム等)の発表数 0件(H29)→8件(H34までの累計)	農林水産部	件	0	-	-	⑥令和元年度以降にKPIを設定
栽培管理マニュアル導入し、生産性革命に取り組む農家戸数 0戸(H29)→480戸(H34までの累計)	農林水産部	戸	0	-	-	⑥令和元年度以降にKPIを設定